

モニタリング結果報告書

施設名 : おだわら諏訪の原公園

指定管理者 : 緑栄造園・日比谷アメニス共同事業体

施設所管課(事務所名) : 小田原土木事務所

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月9日	11月29日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した
11月	12月9日	12月22日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した
12月	1月7日	1月24日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した
1月	2月7日	2月24日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した
2月	3月9日	3月29日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した
3月	4月8日	4月25日	現場確認・月報等で概ね良好に業務が行われていることを確認した

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- 設置目的を踏まえた管理運営について
 - 公園独自のホームページの開設と公園パンフレットの作成
 - 公園だよりの発行、公園の魅力をアピールする祭り
- 利用者の平等な利用の確保について
 - スタッフ教育と人材育成、施設・設備の点検と充実
- 利用者や地域住民に配慮した管理運営について
 - 地域密着型のイベント、地域雇用、周辺施設との交流
- 環境に配慮した管理運営について
 - 省エネルギー、ゼロエミッション、減農薬の実施

<実施状況>

- イベント情報や公園からのお知らせを随時更新、公園整備に合わせたHPのリニューアルの実施、公園整備状況に合わせたパンフレットの作成
 - 公園だよりの隔月発行、隣接フラワーガーデンと公園祭り合同開催、公園の特性と自然を生かした昆虫教室、野鳥観察会、自然素材を利用したクラフトコーナーの常設
- 職員教育、研修を計画、実施して全職員が適切な接遇が行える運営に努めた
- 安全適切な利用指導の為、地域雇用により管理体制や利用サービスの強化を行った
 - ツーライミング協会と協力した公園イベント等を新たに実施した
- 小田原市・市政教室で公園を積極的に利用してもらい、環境に配慮した公園や環境共生型パークセンターについて地元への広報と啓蒙を実施した
 - 減農薬の推進として、害虫駆除は害虫トラップや人力駆除等、農薬を使用しない維持管理作業を推進した

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	58,450	58,450		58,450	0
上半期計 (a)	30,110	30,110	0 (0)	32,900	-2,790
下半期計 (b)	28,340	28,340	0 (0)	27,366	974
10月	5,541	5,541		5,314	227
11月	4,478	4,478		4,769	-291
12月	4,573	4,573		4,122	451
1月	3,943	3,943		3,955	-12
2月	4,302	4,302		4,209	93
3月	5,503	5,503		4,997	506
合計 (a+b)	58,450	58,450	0 (0)	60,266	-1,816

1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。

2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。

・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

（今期に行った資本的な収入及び支出の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	特になし	
支出の状況	特になし	
積立等の状況	特になし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。

支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	34,950人	30,725人	13.8%
下半期計 (b)	38,522人	29,301人	31.5%
10月	8,502人	7,532人	12.9%
11月	9,622人	6,738人	42.8%
12月	6,149人	3,283人	87.3%
1月	5,173人	4,670人	10.8%
2月	4,120人	3,311人	24.4%
3月	4,956人	3,767人	31.6%
合計 (a+b)	73,472人	60,026人	22.4%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕
 〔 ・ローラーすべり台が7月に使用開始した事により、すべり台目当ての利用者が増加した。あわせて利用促進事業を拡充したことにより、相乗効果で利用者が増加した。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	17	23			30	70
11月	40	6			21	67
12月	15	9			15	39
1月	20	8			10	38
2月	6	5			7	18
3月	0	40			11	51

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者にも評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・子供用遊具が欲しい	アンケート
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・犬の散歩は芝生内はやめてもらいたい。	アンケート
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	特になし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	園内掲示や公園ホームページを利用した広報の他、独自の公園たよりを隔月で発行し公園やイベント情報を適時お知らせ。小田原市広報や地元メディア、雑誌等を活用した広報を実施し公園のアピールに努めた。 自動販売機の設置にあたっては、災害時の飲料提供型自動販売機を設置。売上について自然観察のための器具購入等、利用促進活動の資金として活用した。
施設所管課	現在整備途中の公園であるがホームページ・各種広報によるローラー滑り台や各種イベント紹介で公園利用者の増加に努力している。今後、着実に提案内容を実施するとともに、特徴のある公園づくりを念頭に更なる管理運営を行ってほしい。